



セリオ

四月号

便り

- 2022 -



前略、北国にも桜が元気を運んでくれる季節となりました。

さて、今月のセリオ便りは世界のことわざを書いてみましょう。

「希望は最後まで死なない」人間は最後の最後まで諦めてはいけない

と言うドイツのことわざで、「命ある限り希望がある」は、ヨーロッパで

広く使われていて、たとえ厳しくとも希望が見えなくても「希望を捨てた

人間は死ぬ」(マルタ)、「希望は人間の最後のよりどころ」英語のことわざ。

何事も諦めない心の持ち方が大事と教えています。

「一つの戸が閉まれば別の戸が開く」スペイン、メキシコ、ドイツで

伝わっています。憎しみは憎しみによって消えることは無く只愛によって

のみ消え去ると言う思想は、仏教的でその愛の本質は慈悲と言う悲しくも

慈しむ、泣きながら祈るしかない哀しみに満ちています。

一方西洋的に「目には目を歯には歯を」と言う戦いの思想ではそこに

救いの答えを見い出す事が困難な世界情勢に、子供たちの未来と希望に

虚しさを覚えます。8,000キロも離れている戦争は今や瞬時に世界に

配信され情報戦争とも言われています。

その昔観たソフィアローレン主演「ひまわり」という戦争映画の舞台が

ウクライナの国の花、ひまわりがスクリーンいっぱい哀愁を帯びた

音楽と共に流れます。胸が痛い哀しい作品でした。

今行われている理不尽な戦争は映画ではありません。日本に願われて

いる平和への使命が果たせるように祈るばかりです。

皆様もご自愛のほどお祈り申し上げます。 敬具

令和四年四月吉日

松本幸子



手